

「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ7号

2017年9月



ミヤマアカネ（トンボ科アカネ属）

目次

- 1. 9月活動について 2
- 2. ムシプロだより 3
- 3. 自然の愉しみ方（秋） 4
- 4. 事務局より 5
- 今月の表紙 5

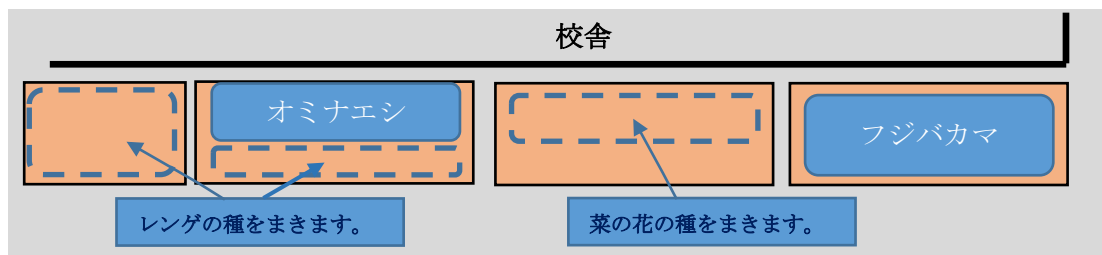
1. 9月9日（土）、10日（日）の活動について

9月9日（土）、10日（日）の活動の概要です。

① 作業の内容

花壇の整備を中心に行います。また、ビオトープの雑草取りを行います。

- 2月～5月に花が咲く「菜の花」と「レンゲ」の種を蒔きます。菜の花・レンゲは、花を楽しめるだけでなく花後、緑肥として花壇の土壌改善にも有効です。

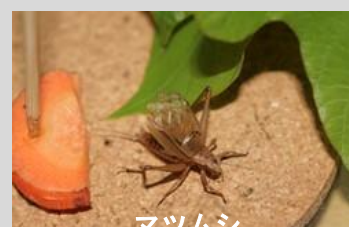


② 観察の見どころ：『小さい秋を見つける』

- 花壇：フジバカマ、オミナエシが見頃を向かえています。
- 鳴くムシの観察：9日の夕食後、くまの木周辺で鳴くムシの観察を行います。涼くなった夜に、各種コオロギ、カンタン、カネタタキなどのムシの音に耳を傾けましょう。
- トンボの観察：10日の午前中、くまの木周辺でトンボの観察を行います。赤トンボを中心に採集して種類を同定します。一口に赤とんぼと呼んでいますがそれぞれに個性があることがわかります。また、ビオトープの生き物を採集しましょう。秋は、夏から秋にかけて新成虫が出現し最も個体数が多くなる季節です。さらに田んぼの水が抜かれたことで水棲昆虫が水のある所に集結しています。タガメ、ゲンゴロウなど大型の水棲昆虫との出会いが期待できます。



フジバカマ



マツムシ



マユタテアカネ



タガメの幼虫

2. ムシプロだより

① スタッフの近況

ムシプロの活動を通して自然と参加者の皆様との橋渡し役になれば幸いと思っていました。ところが、私の方が皆様にとっても刺激を受けています。

7月～8月の中旬は、タマムシを追いかけています。

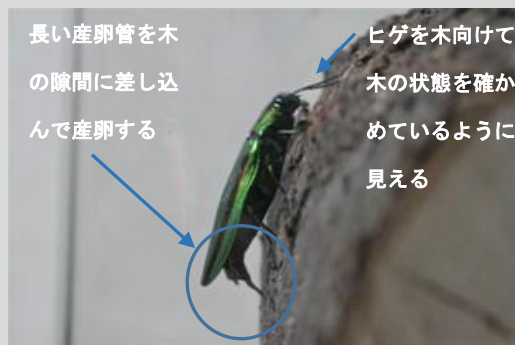
なかなか採集できないし、運よく採集できても飼育が難しいので、あまり気にかけていませんでした。ところが、2015年の夏、家を出たらタマムシが飛んできて目の前の木に止まったのです。このタマムシを手にしたとき口から心臓が飛び出るかと思うほど興奮しました。(笑)

この時がキッカケでタマムシ熱に火がついて7月になるとカメラと網を持ってタマムシを追いかけるのが恒例行事となりました。(笑)

運が良ければ4頭ほど採れますが産卵させて卵から育てたいので7月下旬から8月上旬に採集したメスを飼育することになっています。産卵しても孵化しなかったり、エサ(エノキの葉)を全く食べずに3日程度で死んでしまうなど飼育・繁殖の方法は試行錯誤の連続です。飼育ケースの中でタマムシが、見せてくれる行動・仕草は驚きの連続です。タマムシを通して探す・見る・採る・撮る・飼うの面白さを再認識しています。採集の面白いエピソードは、別の機会に話したいと思います。

(写真・文 西野 孝法)

ムシたちは、
私の幼なじみです！



産卵の様子



飼育の様子

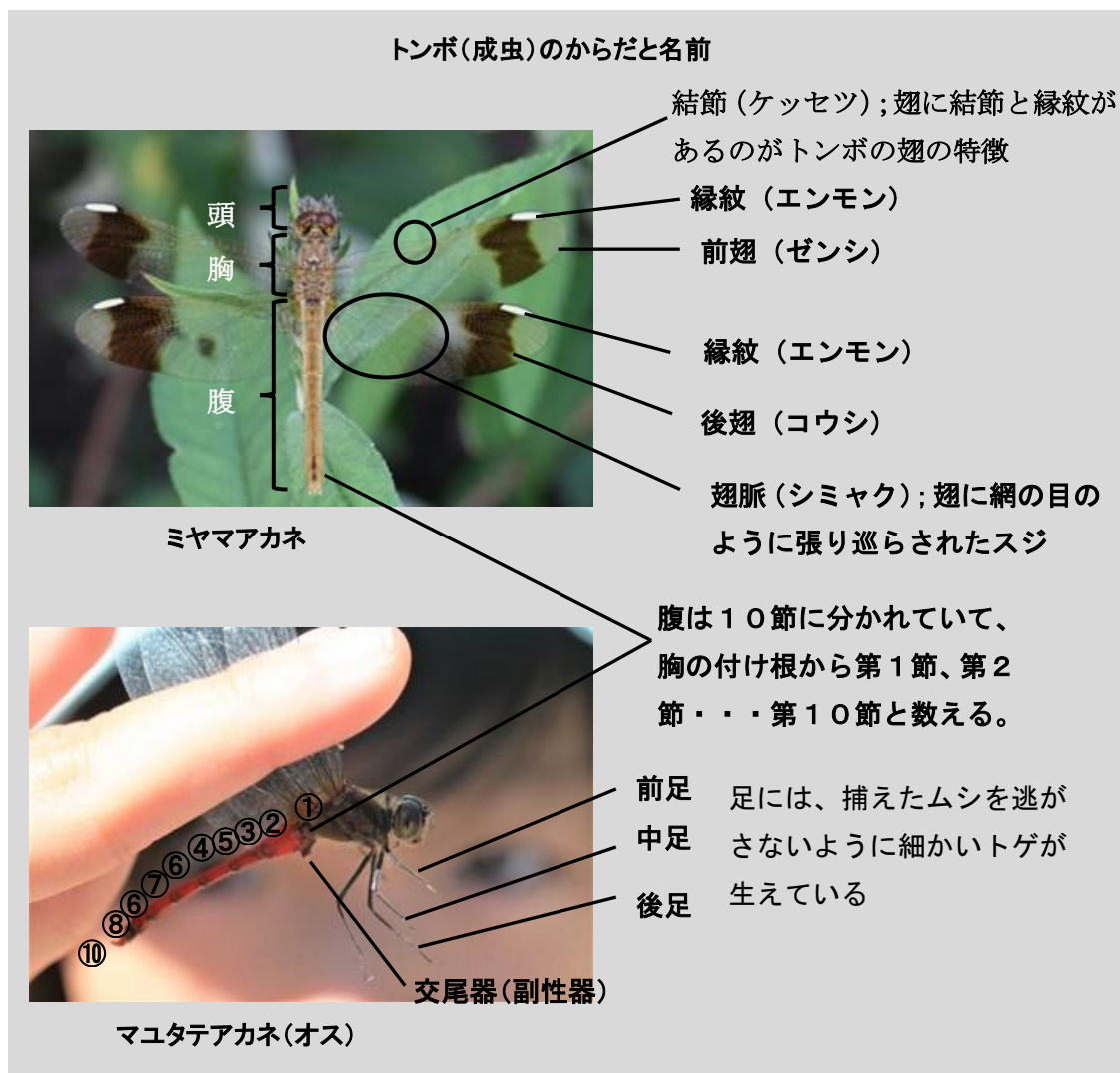
3. 自然の愉しみ方（秋）

● トンボ博士になろう I（トンボのからだ）

トンボは、日本人にとって最も身近な存在だ。このことは、歌の題材や家紋、鎧の飾りなどに使われていることからわかる。特に秋は、トンボに触れ合う絶好の季節なので、この機会にトンボのことを勉強しよう！

トンボは、幼虫時代をヤゴと呼び、水中で生活をする。成虫は、水中から出て空中を生活の場にする。水中で生活するヤゴにはエラがあり、空中で生活する成虫には翅がある。今回は、成虫について解説する。トンボのからだの構造と名前を記載した。できれば、一匹採集して手に取りながら見てほしい。そして空を自由に飛べる体の形、構造を愉しんでもらいたい。

（写真・文 西野 孝法）



4. 事務局より

会報の「表紙」と「自然の愉しみ方」で紹介した画像をイメージゲートウェイに登録しています。Wordに貼りつけてある画像より綺麗です、ご覧ください。アドレスは以下のとおりです。パスワードは、必要ありません。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DMCYuTBGLSE>

画像はダウンロードできます。

2017年9月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：harukan@ac.auone-net.jp

今月の表紙

ミヤマアカネ（トンボ科アカネ属）

- ・翅に褐色の帯がある。赤とんぼの中で翅に帯があるのは本種だけ。
- ・成熟したオスは、縁紋（翅の前方にある紋）、翅脈まで赤くなる。

ミヤマアカネの色の変化



- ① 未成熟のオスは、全体が褐色
- ② 頭、体が赤くなったオス、縁紋は、まだ白い。
- ③ 全体が赤くなったオス。縁紋・翅脈まで赤く色づいている。

軽かな動きと美しさに見とれてしまう。

(写真・文 西野 孝法)